

目標達成計画

作成日: 令和 4年 2月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	パンフレットの作成ができていない。料金やシステムやどんなことができるの特色がわかりにくい。	ご家族様の意見を反映したQ&Aや介護保険制度におけるグループホームの役割や地域で密着した生活が継続できることなどを盛り込んだ事業所の特色がわかるパンフレットを作成し玄関に設置。また問い合わせ・見学・申込の際にお渡しする。	ご家族様にアンケートを実施し、施設を選ぶ際にどんなことが知りたいのかを確認し意見を反映したQ&A入りのパンフレットを作成する。	12ヶ月
2	33	看取りの指針はあるが、何ができて何ができないのか、この時はどうするのか等詳しく記載がなくどんな対応で看取りを行うことができるのかわからない。	看取り時にどのようなことができてできないのか具体的に整理し明記した看取りの指針を更新する。	看取り時にどのようなことができてできないのか整理する。	12ヶ月
3	26	計画書はありアセスメントシートとモニタリングシートはあるが結果が文章として明確化されていない。	アセスメントとモニタリングシートを改善し計画書の結果を文章明確化し共有できるようにする。	アセスメントシートとモニタリングシートを改善検討する。	12ヶ月
4	8	権利擁護のパンフレットを設置していない。グループホームの職員として制度の存在や理解が不十分	権利擁護のパンフレットを資料を設置する。研修を実施し従業員に理解を促す。	市にパンフレットを受け取りに行く。研修を実施する。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。